

第 6 回

熊本県議会

建設常任委員会会議記録

令和8年1月15日

開 会 中

場所 第 5 委 員 会 室

第 6 回 熊本県議会 建設常任委員会会議記録

令和8年1月15日(木曜日)

午前10時9分開議

午前10時31分閉会

港湾課長 田村 伸司

砂防課長 橋口 英介

住宅課長 上野 美恵子

本日の会議に付した事件

議案第1号 令和7年度熊本県一般会計補正予算(第10号)

議案第2号 令和7年度熊本県下水道事業会計補正予算(第4号)

報告第1号 専決処分の報告について

出席委員(8人)

委員長 西山 宗孝

副委員長 城戸 淳

委員 吉永 和世

委員 坂田 孝志

委員 楠本 千秋

委員 本田 雄三

委員 住永 栄一郎

委員 斎藤 陽子

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

土木部

部長 菰田 武志

総括審議員

兼河川港湾局長 西田 将人

政策審議監 椎場 泰三

道路都市局長 奥山 和弘

建築住宅局長 折田 義浩

監理課長 安田 昌史

道路整備課長 大和 勇紀

道路保全課長 谷水 秀行

首席審議員

兼都市計画課長 高橋 慶彦

下水環境課長 堤 哲也

河川課長 工藤 康隆

事務局職員出席者

議事課主幹 眞田 美也子

政務調査課課長補佐 都富 真一

午前10時9分開議

○西山宗孝委員長 ただいまから第6回建設常任委員会を開会いたします。

なお、本日の委員会は、あらかじめ告示された事件及び緊急を要する事件のみを審議する臨時会での委員会であり、本会議を休憩しての開催でもありますので、質疑応答は、付託議案に関するものだけに限らせていただきます。

なお、本日の委員会出席者は、付託議案に関係する職員のみとなっております。

それでは、付託議案等の審査を行います。質疑については、執行部の説明を求めた後に、一括して受けたいと思います。

なお、執行部からの説明は、効率よく進めるために、着座のまま簡潔にお願いをいたします。

まず、土木部長から総括説明を行い、続いて、担当課長から資料に従い順次説明をお願いいたします。

菰田土木部長。

○菰田土木部長 それでは、今臨時会に提出しております土木部関係議案等につきまして御説明いたします。

今回提出しております議案は、補正予算関係議案2件、報告関係1件でございます。

補正予算につきましては、国の補正予算に対応した防災・減災、国土強靱化及び半導体関連産業の集積に伴うインフラ整備等に要す

る経費371億2,500万円余を計上しております。

あわせて、226億3,000万円余の繰越明許費の追加設定をお願いしております。

なお、国土強靱化関連予算につきましては、12月に、県、市町村の合計で昨年度を上回る予算の配分をいただきました。これも、委員の皆様をはじめとする県議会、国、市町村、関係団体等の皆様の御尽力によるものであります。この場をお借りしてお礼申し上げますとともに、引き続き御支援いただきますようお願いいたします。

次に、報告案件につきましては、専決処分
の報告について1件を御報告させていただきます。

以上、総括的な御説明を申し上げましたが、詳細につきましては、担当課長から説明いたしますので、御審議のほどよろしく願
いいたします。

今後とも、災害からの復旧、復興、国土強
靱化をはじめ、県内各地域における社会基盤
の整備、保全を着実に推進してまいりますの
で、委員各位の御支援と御協力をよろしくお
願いいたします。

○西山宗孝委員長 引き続き、関係課長から
順次説明をお願いします。

○安田監理課長 監理課でございます。

常任委員会説明資料1ページをお願いいた
します。

令和7年度1月補正予算について御説明申
し上げます。

今回の補正予算は、防災・減災、国土強靱
化や半導体関連産業の集積に伴いますインフ
ラ整備と国の補正予算に対応した予算を計上
しております。

1ページ、上の表2段目、今回補正額、表
真ん中あたりになりますが、一般会計のう
ち、投資的経費360億5,600万円余、その右

側、消費的経費2億1,000万円、右のほうに
行きますと、右から2つ目、特別会計等計8
億5,800万円余、今回補正額合計371億2,500
万円余となります。

各課別の内訳につきましては、下の表のと
おりでございます。

2ページは、1月補正予算の総括表になり
ます。

一般会計及び特別会計等ごとに、各課の補
正額とその財源内訳を記載しております。

表右側、今回補正額の財源内訳の最下段を
お願いいたします。

国支出金120億7,400万円余、地方債239億
7,000万円、その他7億1,000万円余、一般財
源3億7,000万円余となっております。

以上が土木部の1月補正予算の状況です。

監理課からは以上でございます。

○大和道路整備課長 道路整備課でございま
す。

3ページをお願いいたします。

道路整備課分は、国土強靱化及び半導体産
業集積地関連の国補正に対応した補正予算を
計上しております。

まず、2段目の国直轄事業負担金でござい
ますが、28億9,400万円余の増額補正を計上
しております。

これは、中九州横断道路等の整備に伴う県
負担金でございます。

次に、4段目の道路改築費でござい
ますが、11億5,800万円余の増額補正を計上し
ております。

これは、国道266号大矢野道路及び国道324
号本渡道路Ⅱ期の整備を行うものでございま
す。

次に、5段目の地域道路改築費でござい
ますが、95億5,700万円余の増額補正を計上し
ております。

これは、強靱化分として、県道宇土不知火
線ほか59か所について28億3,100万円余、ま

た、半導体産業集積地関連として、大津植木線ほか6か所について67億2,600万円余であり、これらにより国道、県道の整備を行うものでございます。

最後に、下から2段目の道路施設保全改築費（橋りょう補修分）でございますが、9億5,400万円余の増額補正を計上しております。

これは、県道寺田岱明線、高瀬大橋ほか52か所の補修等を行うものでございます。

道路整備課は以上でございます。

○谷水道路保全課長 道路保全課でございます。

4ページをお願いいたします。

2段目の道路施設保全改築費でございますが、18億400万円余の増額補正を計上しております。

これは、強靱化に係る国補正分として、宮原五木線ほか85か所において、落石防護等ののり面対策や老朽化したトンネルへのひび割れ補修などを行うものでございます。

道路保全課は以上です。

○高橋都市計画課長 都市計画課でございます。

5ページをお願いします。

都市計画課分は、全て強靱化に係る国補正に対応した補正予算でございます。

2段目の土地区画整理事業費でございますが、6億3,000万円余の増額補正を計上しております。

これは、益城中央地区及び人吉市の青井地区において、一日も早い宅地の引渡しを実現するため、建物等の移転補償や道路改築等を前倒しして施行するものでございます。

次に、4段目の街路整備事業費でございますが、5億4,800万円余の増額補正を計上しております。

これは、八代市の南部幹線Ⅰ工区ほか1か

所について、橋台等の施工及び構造物の詳細設計等を施行するものでございます。

次に、6段目の都市公園整備事業費でございますが、3億400万円余の増額補正を計上しております。

これは、熊本県民運動公園ほか1か所について、新設駐車場の整備及び老朽化したトイレと照明設備の改修を施行するものでございます。

都市計画課は以上です。

○堤下水環境課長 下水環境課でございます。

下水環境課の会計は、一般会計と下水道事業会計に分かれております。

一般会計分は、下水道事業会計分に伴い計上するものですので、先に下水道事業会計から御説明いたします。

8ページをお願いします。

下水道事業会計分は、強靱化及び半導体産業集積地関連に係る国補正に対応した補正予算を計上しております。

1段目の熊本北部流域下水道建設費でございますが、7,400万円余の増額補正を計上しております。

これは、2段目、管路施設等の建設改良費の右側説明欄のとおり、幹線管渠の点検調査などを行うものでございます。

3段目の球磨川上流流域下水道建設費でございますが、1億4,100万円余の増額補正を計上しております。

これは、4段目、管路施設等の建設改良費の右側説明欄のとおり、管路施設の耐水化工事などを行うものでございます。

5段目の八代北部流域下水道建設費でございますが、1,300万円余の増額補正を計上しております。

これは、6段目、管路施設等の建設改良費の右側説明欄のとおり、幹線管渠の点検調査などを行うものでございます。

7段目の熊本セミコン特定公共下水道建設費でございますが、6億3,000万円の増額補正を計上しております。

これは、8段目、管路施設等の建設改良費の右側説明欄のとおり、半導体産業集積地関連として、管路新設に伴う工事などを行うものでございます。

7ページにお戻りください。

一般会計分でございます。

2段目の公営企業貸付金でございますが、先ほど説明しました熊本セミコン特定公共下水道建設費に係る企業負担分について、下水道事業会計へ貸し付けるものであり、2億1,000万円の増額補正を計上しております。

下水環境課は以上です。

○工藤河川課長 河川課でございます。

9ページをお願いいたします。

河川課分は、全て強靱化に係る国補正に対応した補正予算でございます。

まず、2段目の国直轄事業負担金でございますが、16億200万円の増額補正を計上しております。

これは、国が管理する1級河川の緑川ほか5か所の河川改修事業や新たな流水型ダムの整備等に対する県負担金を計上するものです。

次に、4段目の河川改修事業費でございますが、40億4,900万円余の増額補正を計上しております。

これは、河川改修等を行う事業に要する費用で、玉名市の境川ほか23か所の経費を計上するものです。

次に、5段目の堰堤改良費でございますが、5億9,800万円余の増額補正を計上しております。

これは、ダム管理施設の改修、更新に要する費用で、水上村の市房ダムほか2か所の経費を計上するものです。

次に、7段目の海岸保全施設補修事業費で

ございますが、1億1,100万円余の増額補正を計上しております。

これは、海岸堤防等施設の機能回復強化に要する費用で、八代市の明治新田海岸ほか3か所の経費を計上するものです。

最後に、下から3段目の直轄災害復旧事業負担金でございますが、79億800万円の増額補正を計上しております。

これは、国が行う災害復旧に伴う事業で、球磨川ほか11か所に対する県負担金を計上するものです。

河川課は以上です。

○田村港湾課長 港湾課でございます。

10ページをお願いします。

港湾課分は、全て強靱化に係る国補正に対応した補正予算でございます。

2段目の海岸高潮対策事業費ですが、1億6,100万円余の増額補正を計上しております。

これは、本渡港海岸ほか2か所の老朽化対策等に要する経費でございます。

3段目の国直轄事業負担金ですが、6億9,300万円余の増額補正を計上しております。

これは、八代港の土砂処分場と熊本港の耐震強化岸壁の整備に伴う県負担金でございます。

4段目の港湾環境整備事業費ですが、3億5,400万円余の増額補正を計上しております。

これは、熊本港の土砂処分場整備に要する経費でございます。

5段目の港湾補修事業費ですが、9,100万円余の増額補正を計上しております。

これは、八代港の泊地のしゅんせつに要する経費でございます。

港湾課は以上です。

○橋口砂防課長 砂防課でございます。

11ページをお願いします。

砂防課分は、全て強靱化に係る国補正に対応した補正予算でございます。

2段目の通常砂防事業費でございますが、4億1,700万円余の増額補正を計上しております。

これは、八代市の行徳川ほか7か所の土石流災害防止のための砂防堰堤等の整備に要する経費でございます。

3段目の地すべり対策事業費でございますが、2億200万円余の増額補正を計上しております。

これは、天草市の上久保ほか4か所の地滑りによる被害を除去、軽減するための地滑り防止施設の整備に要する経費でございます。

4段目の急傾斜地崩壊対策事業費でございますが、8,100万円余の増額補正を計上しております。

これは、玉名市の湯の浦ほか3か所の崖崩れ災害防止のための擁壁等の整備に要する経費でございます。

5段目の国直轄事業負担金でございますが、3億2,700万円余の増額補正を計上しております。

これは、川辺川流域と阿蘇山の直轄事業に要する県負担金でございます。

6段目の火山砂防事業費でございますが、5億600万円余の増額補正を計上しております。

これは、火山砂防事業により、宇土市の中登川ほか11か所の火山地域における土石流災害防止のための砂防堰堤等の整備に要する経費と火山噴火警戒避難対策事業により、阿蘇山の警戒避難体制の整備、火山噴火時の迅速な減災対策を実施するための緊急用資材の作成、配備に要する経費でございます。

7段目の土砂災害警戒避難対策事業費でございますが、1億1,500万円余の増額補正を計上しております。

これは、土砂災害警戒区域等の指定を行う

ために、高精度地形情報を用いて危険箇所を抽出する砂防関係基礎調査等に要する経費でございます。

8段目の砂防設備等緊急改築事業費でございますが、7億5,900万円余の増額補正を計上しております。

これは、芦北町の塩尾ほか18か所の既設の砂防堰堤の長寿命化と土石流からの安全性を向上させるために、老朽化などにより機能が低下した砂防堰堤などの改築に要する経費でございます。

砂防課は以上です。

○上野住宅課長 住宅課でございます。

12ページをお願いいたします。

2段目の公営住宅ストック総合改善事業費でございますが、2億2,000万円余の増額補正を計上しております。

これは、強靱化に係る国補正分として、菊陽町にある県営武蔵ヶ丘団地の長寿命化改修を行うものでございます。

住宅課は以上です。

○安田監理課長 監理課でございます。

13ページをお願いいたします。

令和7年度繰越明許費についてでございます。

表左から3列目の最下段のほうに記載しておりますが、既設定金額でございますが、1,116億5,000万円余の承認をこれまでいただいております。今回、これに加えて、表左から4列目に記載のとおり、226億3,000万円余の追加設定をお願いしております。追加後の累計額は、その右側にありますが、1,342億8,000万円余となっております。

この規模感でございますが、昨年度の設定額が970億円ございました。令和2年の豪雨災害のときが1,320億円程度でございますので、設定額としては、それよりも少し大き

く出ているようには見えているところではございません。

ただ、一方で、今、2月定例会に向けまして、事業費の確定等に伴います予算の最終調整を行っておるところでございます。これによりまして、最初の設定額は、あと数十億円落ちるのではないかとというふうに出るところを見込んでおるところでございます。

繰越関連につきましては、また2月の定例会で改めて、最終の御説明といたしますか、規模感については御説明させていただければというふうに出るところでございます。

続きまして、15ページをお願いいたします。

工事請負契約の変更について、地方自治法第180条第1項の規定により行いました専決処分の報告でございます。

この契約案件につきましては、令和6年2月定例会において議決いただいたものでございます。

内容につきましては、16ページ、概要により説明いたします。

工事名 鹿児島本線大野下・玉名間169k352m付近境川橋梁(仮称)新設工事。工事内容、ボックスカルバート工。工事場所、玉名市中。請負契約締結日、令和6年3月27日。契約の相手方、九州旅客鉄道株式会社。変更契約工期、工期の末日、令和7年10月31日までを令和7年12月24日までに変更。変更契約金額、7億4,105万2,000円を7億4,378万691円に変更するもので、272万8,691円の増額となります。変更理由は、令和7年8月豪雨により現場が浸水いたしまして、工法を変更したことに伴う工期の延長、それから増額になります。

監理課からは以上でございます。

○西山宗孝委員長 以上で執行部の説明が終了しましたので、質疑を受けたいと思います。

なお、繰り返しになりますが、質疑は、付託議案に限らせていただきますので、委員の皆様方の御協力をお願いいたします。

質疑は、該当する資料のページ番号、担当課、事業名を述べてからお願いします。質疑を受けた課は、課名を言って、着座のまま説明をしてください。

質疑ありませんか。

○坂田孝志委員 特段はありませんが、大きな補正となっておりますので、速やかに事業執行ができますように頑張ってくださいと思います。よろしく申し上げます。

以上でございます。

○菰田土木部長 御意見ありがとうございます。

11月定例会でもお話しさせていただきましたけれども、非常に大きな金額を、確定予算いただいているところです。繰越額も非常に大きい形になっております。できるだけ工事の平準化に努めるよう、職員一同、一生懸命頑張らせていただきますので、引き続き御支援をお願いいたします。ありがとうございます。

○西山宗孝委員長 ほかにありませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○西山宗孝委員長 なければ、以上で質疑を終了します。

それでは、ただいまから、本委員会に付託されました議案第1号及び第2号について、一括して採決をしたいと思います。御異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○西山宗孝委員長 御異議なしと認め、一括して採決いたします。

議案第1号外1件について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○西山宗孝委員長 御異議なしと認めます。
よって、議案第1号外1件は、原案のとおり
可決することに決定しました。

それでは、これをもちまして第6回建設常
任委員会を閉会いたします。

午前10時31分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定により
ここに署名する

建設常任委員会委員長